

【取組内容①】 クラウドを活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けて

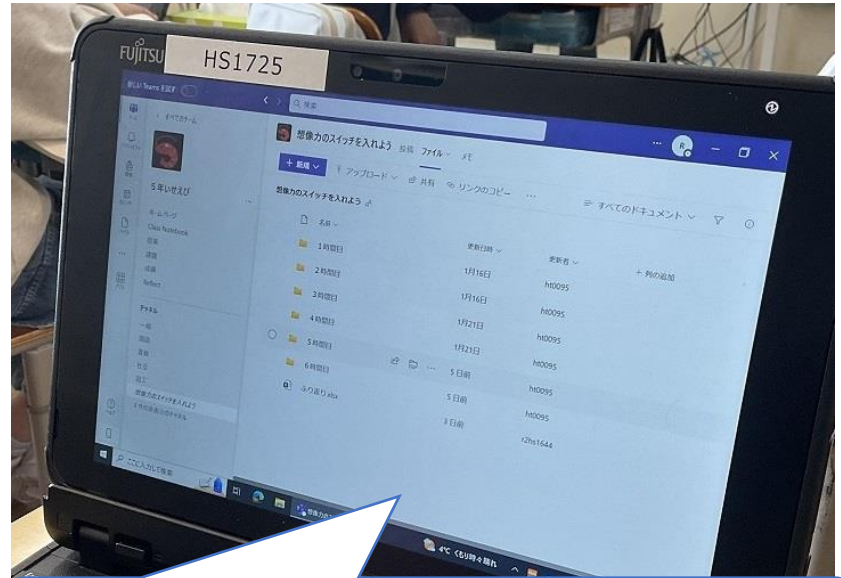
クラウドを活用して自分で学習を作る

単元の導入で学習の手引きを提示した。児童は目標をもとに自分で進度を考え、計画を立てて学習に取り組むことができた。また、1時間ごとの必要な資料をフォルダに入れておくことで自分で参照しながら学習を進めた。

単元の目標や1時間ごとの学習内容が載っている学習の手引きを提示

社会「自動車をつくる工業」学習のてびき

名前			
目標			
<ul style="list-style-type: none"> 自動車の作り方や自動車の輸送方法について調べ、自動車工業に関わる人々の工夫や努力を見つける。 学習の見通しをもって学習問題を追究し、解決する。 			
～学習の流れ～			
日付	学習の流れ	教科書	資料集
/	①自動車がどこで、どのように作られているかを調べ、工夫や努力を見つける。	P10～15	P72～P75
/	②自動車の各部品はどのように作られているかを調べ、工夫や努力を見つける。	P16～17	P76～P77
/	③完成した自動車がどのようにして世界中の消費者に届けられるかを調べ、工夫や努力を見つける。	P18	P78
★チェック1 まとめたノートか学習カードを先生に見せる。			
/	④現地生産の利点を調べ、工夫や努力を見つける。	P19	P79
/	⑤新しい自動車は、どのように生み出されているのか調べ、工夫や努力を見つける。	P20～21	P80
★チェック2 まとめたノートか学習カードを先生に見せる。			



Teamsのクラスのファイルに1時間ごとのフォルダを作っておき、児童がいつでも参照できるようにしておく

